

米粉の栄養的特性

— 米粉利用食品の栄養的可能性の模索 —

自給率の向上のために、米粉の食品への利用促進が期待されている。しかし、米以外の穀物で作られた食品への、米粉の利用は、その穀類と置き換えた場合の栄養的価値が不明である。そこで、本研究は米粉の摂取が生活習慣病に関連すると考えられているホルモンに与える影響が、他の主要穀類とどの様に違うのかを明らかにした。

研究の内容

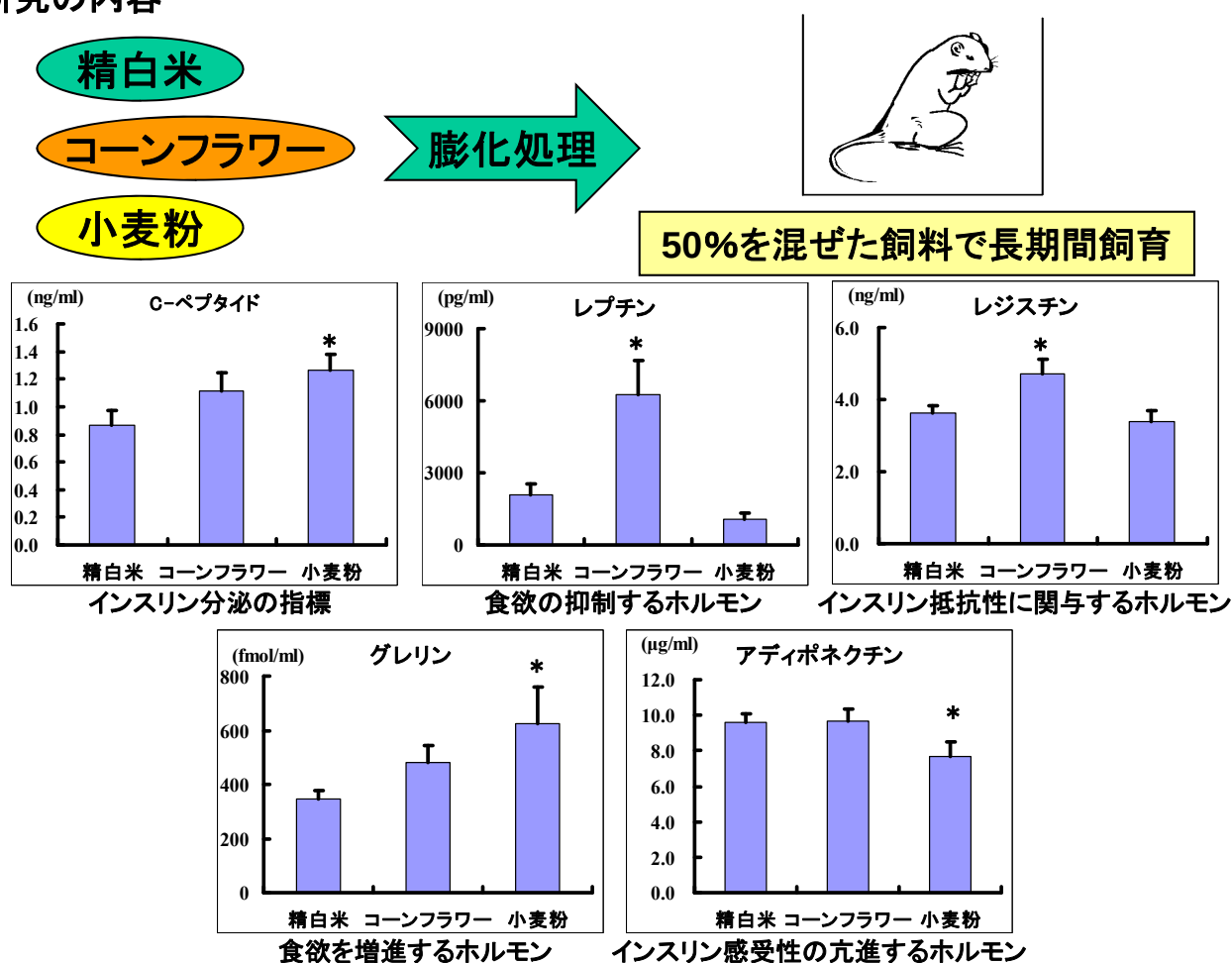


図 血漿中のC-ペプチド、レプチン、レジスチン、グレリン、アディポネクチン含量

米粉の摂取は他の穀類に比べて、インスリンの感受性を改善させる可能性が示唆された。

今後の展開

米粉のインスリン感受性改善機構を明らかにする予定。